

第5章 将来都市像

1. 都市づくりの理念と目標

(1) 都市づくりの理念

本計画では、朝日町における都市の現状・住民意向から導き出された都市づくりの基本的課題を踏まえるとともに、上位計画である「第5次朝日町総合計画」に示される将来像との整合性を図り、都市の基本理念を次のように設定する。

【都市づくりの理念】

誰もが魅力を感じ、安全・安心に暮らし続けることができ、
人々の絆によって 夢と希望が持てるまちづくり

■誰もが魅力を感じる…

朝日町の美しい自然と都市が調和した環境のもと、町内外の人々が交流し、笑顔があふれるまちなかの賑わいを創出するとともに、若者などが自分にあった職業を選択して働くことができる産業基盤をつくることで、誰もが魅力を感じるまちづくりを推進し、人口減少社会に対応した移住・定住の促進を図る。

■安全・安心に暮らし続けることができる…

地震や津波などの自然災害などに備えた防災対策の充実、少子高齢化社会に対応した医療・福祉施設の充実により、安全・安心なまちづくりを推進するとともに、まちなか・集落地における住環境、インフラ施設の適正な維持管理などを行うことにより、住民が住み慣れた土地でこれからも快適に暮らし続けることができるまちづくりを推進する。

■人々の絆の基に育まれる…

住民一人ひとりが積極的にまちづくりに参加し、また、住民同士の協力のもと、住民が主体となってまちづくりに取り組める体制を構築するとともに、人々の絆を大切にし、住民・事業者・行政など「オール朝日町」で連携・協働のまちづくりを推進する。

■夢と希望が持てる…

“誰もが魅力を感じるまち”、“安全・安心に暮らし続けることができるまち”、“人々の絆が強いまち”の形成によって、住民が朝日町に誇りを持ち、明日への夢と希望が持てるまちづくりを推進する。

(2) 都市づくりの目標

都市づくりの理念を実現するため、都市づくりの目標を次のように設定する。

目標1：誰もが魅力を感じることができるコンパクトなまちづくり

- ・ まちなかにおいて、都市機能の集約化を図るとともに、幹線道路や駅などが集中した交通の利便性を活かしながら、町内外の人々が交流できる賑わいのある都市空間の形成を図る。
- ・ 道路、公園、下水道の整備促進、適正な維持管理を行うとともに、計画的な土地利用などにより、移住・定住の受け皿となる住環境の整備を推進する。
- ・ 農林漁業、工業、商業、観光などの産業発展に寄与する都市基盤の整備を推進するとともに、朝日町を担う若者などが希望を持って働くことができる多様な雇用の場を創出する。
- ・ 旧石器時代から始まる朝日町の歴史・文化、都市の成り立ちを後世に受け継ぐとともに、まちなかの空洞化と郊外へのスプロール化を抑制し、まちなかと周辺に広がる良好な自然環境が調和したまちづくりを推進する。



五叉路 Cross Five

目標2：住み慣れた土地で安全・安心して暮らし続けることができるまちづくり

- ・ 地震や津波などの自然災害などに備えた防災対策、まちなかなどにおける密集住宅地の解消や空き地・空き家の改善対策、防犯対策により、誰もが安全・安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進する。
- ・ 集落地において、道路整備や公共交通の充実を図ることにより、まちなかと連携する交通ネットワークの強化を図る。
- ・ 生活に必要な商業、教育、医療・福祉、コミュニティなどの施設を維持するとともに、身近な公園や下水道の整備促進と適正な維持管理により、生活の利便性向上を図る。
- ・ 集落地における無秩序な開発を抑制し、周辺の農地と調和した美しい集落環境を維持する。



農村集落

目標3：町に誇りを持ち、人々の絆を大切にした連携・協働のまちづくり

- ・ 住民にまちづくりに関する情報を発信し、住民参加の機運を高めるとともに、自治振興会の活動などを通して、住民同士がお互いに協力してまちづくりに取り組める体制を構築する。
- ・ まちづくりに関する各種計画・事業について、住民等が参加できる機会を設けながら、住民・事業者・行政の連携・協働によるまちづくりが推進できる体制を構築する。
- ・ 北陸新幹線の開業を機に、黒部宇奈月温泉駅を中心とした新川地域における連携の強化など、広域的な視点によるまちづくりを推進する。



タウンミーティング

2. 将来都市構造

朝日町の地形や都市の成り立ち、地域特性を踏まえ、都市構造を構成する「ゾーン」、「軸」、「拠点」について、機能や配置を示し、都市の基本的な方向性を整理する。

(1) ゾーン

① まちなか賑わい創出ゾーン

朝日町の中心市街地を形成し、用途地域が指定されている地域を「まちなか賑わい創出ゾーン」として位置付ける。

本ゾーンでは、地域間を連絡する国道8号、県道入善朝日線、県道泊停車場線、県道山崎泊線、町道泊環状線などの幹線道路の集中や、あいの風とやま鉄道泊駅が位置する交通の利便性を活かしながら、新たに整



朝日町図書館

備された五叉路 Cross Five、朝日町図書館・明治記念館の開設などを契機とし、多くの人々が交流でき、朝日町の顔となる賑わいのある都市空間を形成する。

そのため、商店街の活性化に向けたハード・ソフト両面からの対策の検討と合わせて、まちなかの未利用地や、空き地・空き家の活用を推進する。

これによって、行政、教育、医療・福祉、商業などの都市機能を集約し、これらの都市機能を楽しむ魅力的な住環境の形成を図る。

② 都市型集落居住ゾーン

県道朝日宇奈月線・町道泊桜町線を軸とした「まちなか賑わい創出ゾーン」の南側一帯を「都市型集落居住ゾーン」として位置付ける。

本ゾーンでは、まちなかとの近接性を活かした集落環境を創出し、教育文化・スポーツにも親しめる文教・健康機能を備えた住環境の形成を図る。



旭ヶ丘団地

③ 集落生活維持ゾーン

朝日町の中心市街地の「まちなか賑わい創出ゾーン」や、朝日町文化体育センターを中心とした「都市型集落居住ゾーン」を除く集落を「集落生活維持ゾーン」として位置付ける。

本ゾーンでは、集落の生活環境の維持や災害対策などを進めるとともに、集落と農地等の自然が調和した環境の保全を図る。



農地や自然と調和した集落群

④ 森林環境保全ゾーン

朝日町の南東部の緑豊かな山間部の地域を「森林環境保全ゾーン」として位置付ける。

本ゾーンでは、朝日県立自然公園に代表される緑豊かな自然環境を保護するとともに、自然環境を活かして整備された棚山ファミリーランドなどのレクリエーション空間の保全を図る。



棚山ファミリーランド

(2) 軸

① 海辺環境保全軸

朝日町の海岸沿いを「海辺環境保全軸」として位置付ける。

本軸では、海岸沿いの自然環境の保全や、津波などの災害対策を推進するとともに、ヒスイ海岸として親しまれる宮崎・境海岸などを訪れる人々の観光交流拠点を創出するほか、隣接市町との連携を強化し、海辺におけるネットワークの形成を図る。



ヒスイ海岸

② 川辺環境保全軸

朝日町の代表的な河川である二級河川の小川、舟川、木流川、笹川、境川、山合川、導善寺川沿いを「川辺環境保全軸」として位置付ける。

本軸では、河川の適正な維持管理による水質や生態系の保全、河川の氾濫などの監視や、防災対策を推進するとともに、桜並木やチューリップなどが整備された舟川べり周辺を訪れる人々の観光交流拠点を創出する。



舟川べり

③ 地域間連携軸

地域間の連携を担う北陸自動車道、国道8号、県道朝日宇奈月線、町道山崎南保線、北陸新幹線北側に整備された町道大家庄南保線を「地域間連携軸」として位置付ける。

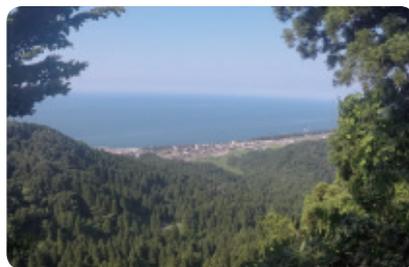
本軸では、他都市との広域的な交流や町内各地区の連携を強化することにより、各地区の賑わい創出、産業や観光の振興を図る。また、本軸と本軸に連絡する幹線道路等によって構築される交通ネットワークの強化を図る。

(3) 拠点

① ヒスイ海岸周辺観光交流拠点

あいの風とやま鉄道越中宮崎駅を中心とした宮崎・境海岸周辺を「ヒスイ海岸周辺観光交流拠点」として位置付ける。

本拠点では、ヒスイ海岸として親しまれる朝日町の代表的な観光地の魅力向上を図り、多くの人々が交流できる拠点空間の創出を図る。



境・宮崎地区

② 舟川べり観光交流拠点

二級河川舟川沿いを「舟川べり観光交流拠点」として位置付ける。

本拠点では、舟川の清流を保全するとともに、舟川べり周辺に咲く桜並木、チューリップなどの花木と朝日岳・白馬岳が生み出す美しい景観を保全し、多くの人々が交流できる拠点空間の創出を図る。



三枚橋・舟川新地区

③ 歴史文化産業交流拠点

なないろKAN、歴史公園、まいぶんKAN、百河豚美術館などが集積する一帯を「歴史文化産業交流拠点」として位置付ける。

本拠点では、朝日町の歴史や文化、産業を学習・体験できる機能の充実、多くの人々が交流できる拠点空間の創出を図る。



なないろKAN

④ 里山居住・交流拠点

笹川地区のふるさと移住交流体験施設さゝ郷ほたる交流館周辺を「里山居住・交流拠点」として位置付ける。

本拠点では、山間部の自然環境と共生した里山の暮らしや伝統・文化などを体験できる機能の充実を推進し、多くの人々が交流できる拠点空間の創出を図る。



さゝ郷ほたる交流館

⑤ 産業創出拠点

朝日町鉄工団地及び隣接するあいの風とやま鉄道以北の一帯を「産業創出拠点」として位置付ける。

本拠点では、朝日町鉄工団地の機能強化、隣接するあいの風とやま鉄道以北における産業基盤の整備や当該地と幹線道路とのアクセス性の向上を図る。



朝日町鉄工団地

⑥ 医療・福祉拠点

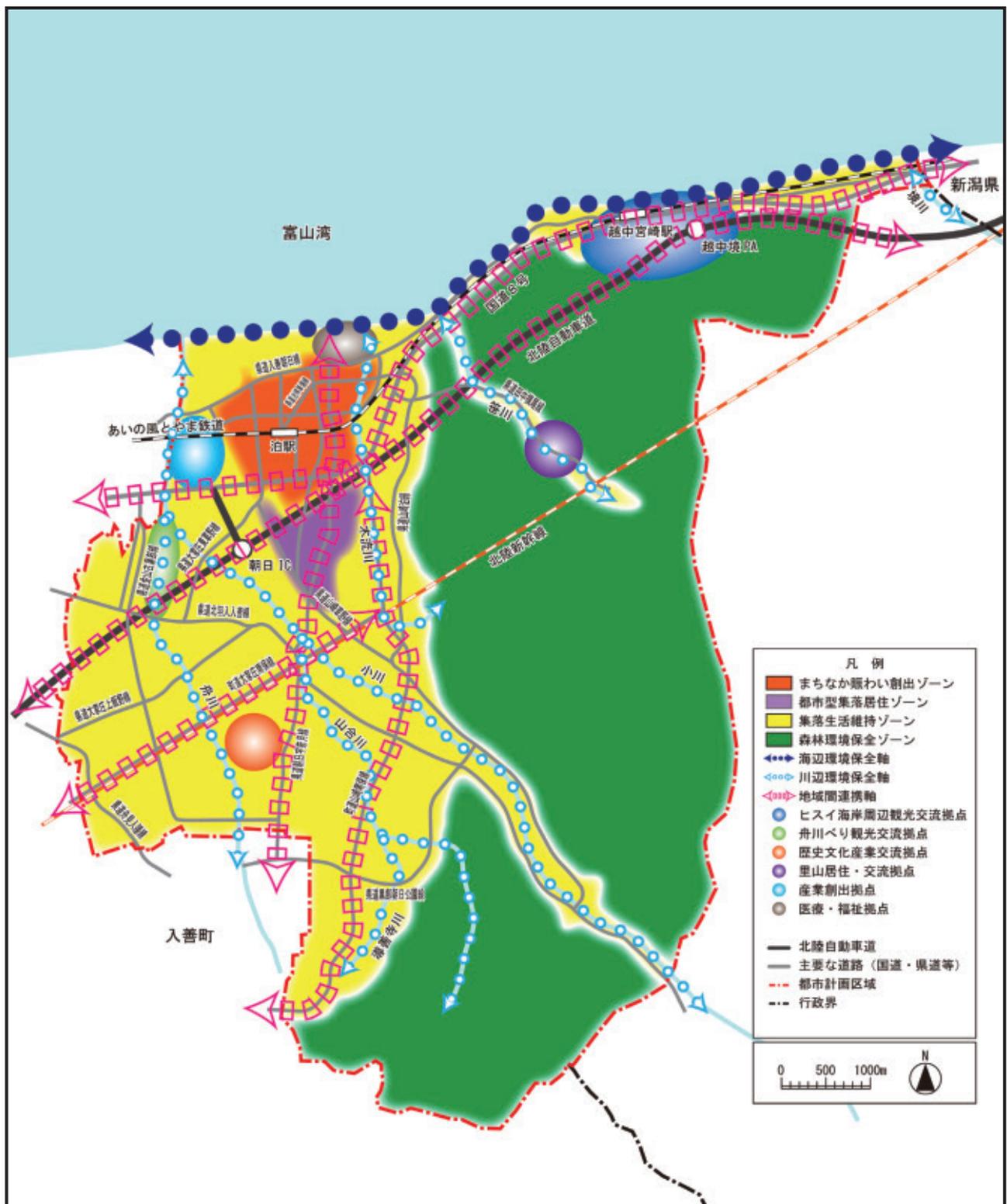
あさひ総合病院、特別養護老人ホーム有磯苑などの福祉施設が集積する一帯を「医療・福祉拠点」として位置付ける。

本拠点では、さらなる医療・福祉における機能充実を図るとともに、住民が元気に暮らし続けられるよう医療・福祉の中核となる拠点空間の創出を図る。



あさひ総合病院

将来都市構造図



第5章
将来都市像